

児童発達支援ガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%

保護者様： 27名回答、回答率 93%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・スケジュール表やマークなどの視覚支援を用いて、わかりやすい環境づくりを行っている。
- ・パーテーションを利用し、個別のスペースを必要に応じて確保している。
- ・適切な人員体制で運営を行っている。

○業務改善

- ・業務前ミーティングを毎日実施し、当日のプログラムや役割分担などの共有、前回の振り返りを行っている。
- ・全職員に対する研修を定期的に実施している。

○適切な支援の提供

- ・個別支援計画の共有を行い、日々のプログラムの中で実施している。
- ・全職員が5領域の領域ごとに分担してプログラムを立案・実施することで、固定化を防ぎ子どもたちが楽しめる内容になっている。
- ・小集団療育をメインで実施しているが、個人に合わせて難易度を調整したり、個別で取り組むなどの工夫を行っている。

○関係機関や保護者との連携

- ・児童発達支援センターとの情報共有を必要に応じて行っている。
- ・保育園・幼稚園にクローズドで通園されている方もおり、情報共有は保護者を通じて実施することがある。

○保護者への説明責任等

- ・フィードバック内で、内容と様子を決められた時間内でお話をしている。
- ・定期的な面談以外にも、保護者の相談に適宜応じている。

○非常時等の対応

- ・避難訓練を毎月実施し、対応マニュアルに沿った行動ができるようにしている。
- ・非常時に必要な道具の位置を全員が把握している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・「活動スペースの確保」については「適切な広さがあって活動しやすい部屋になっている」というご意見を頂いた。
- ・「適切な人員配置」に関しては「手厚くてとてもありがたい」というご意見を頂いた。

○適切な支援の提供

- ・「子どもの特性に沿っている」「毎回いろんな活動ができている」とのご意見を頂いた。
- ・「専門性のある支援が受けられているか」については、9割以上の方から「はい」との回答を頂いたが、「見学時に音声聞こえないためわからない」というご意見もあった。

○保護者への説明等

- ・「こどもの状況の共有ができているか」について、「いつも親身になってくれて嬉しい」というご意見を頂いた。「フィードバックが対全保護者のため、個々の様子が少しわかりづらい」「他の保護者もいるので相談しづらい」というご意見もあった。

○非常時等の対応

- ・「避難訓練などが行われているか」について、「わからない」との回答があったため、周知方法については工夫を検討する必要がある。

○満足度

- ・「支援に満足しているか」について、9割以上の方から「はい」との回答を頂き、満足度が高いことがうかがえた。
- ・「優しい雰囲気先生方で安心している」「少しずつ成長を感じる」とのご意見を頂いた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・集団生活に活かし、関わりを深められる「関わりの時間」の課題設定の工夫。
- ・個人情報の取り扱い、各種マニュアルや避難経路の周知を深める。
- ・保育園、幼稚園、その他関係機関との連携を深める。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・安全で構造化された環境を整えることができ、スケジュール表などを適切に使用できている。
- ・関わりの時間については児童が自発的に遊べるよう工夫し保護者にお伝えができた。
- ・個人情報保護・避難訓練やマニュアル等について、周知方法の改善を行う。契約時以外の周知も検討する。
- ・保育園・幼稚園の訪問は希望が無く実施しなかったが、必要に応じて連携を取っていく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・毎日の情報共有を適切に行えており、PDCAサイクルを回すことができています。
- ・児童の特性を理解した上でプログラムと環境を設定し、療育を実施することができています。
- ・全職員が分担してプログラムの立案・実施を行うことで、支援の満足感につなげることができた。
- ・フィードバックや個別支援計画の更新面談以外でも必要に応じて面談を実施し、児童の状況についての情報共有や家庭へのアドバイスをを行うことができた。

○改善点

- ・フィードバックの際に個人の様子が伝わりやすいよう、伝え方を工夫していく。
- ・保護者参観の実施を検討する。
- ・保育園・幼稚園との連携を必要に応じて検討する。
- ・避難訓練、安全計画などのマニュアルの周知を工夫する。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・個人の様子が伝わりやすいような伝え方や体制を検討する。
- ・保護者参観の実施を検討する。
- ・各種マニュアルや避難訓練の実施について、契約時以外でも周知を行う。
- ・保育園・幼稚園などとの連携を必要に応じて検討する。

○1年間で取り組む具体策

- ・全体フィードバック以外に必要に応じて家族支援や事業所内相談なども含め個別でお話をしていく。
- ・保護者参観の希望があるかを聞き取り、要望に応じて開催を検討する。
- ・避難訓練を実施した際には掲示を行う。各種マニュアルについては、希望時に閲覧ができることをお便りにて周知し、待合室にお知らせを掲示する。
- ・保護者の要望に応じて、保育園・幼稚園などと児童の情報共有を行う。